

教員名	平岡 公一 (HIRAOKA Koichi)
所 属	文教育学部人間社会科学科応用社会学講座
学 位	社会学修士 (1980 東京大学)
職 名	教授
URL / E-mail	hiraokak@cc.ocha.ac.jp

## ◆研究キーワード

社会福祉 / 社会政策 / 社会保障 / 政策評価 / 社会学

## ◆主要業績

総数 ( 3 ) 件

- ・平岡公一「社会福祉の市場化と公益性——介護サービスを中心に——」  
『社会福祉研究』鉄道弘済会、第96号、54～60頁、2006年8月。
- ・平岡公一「社会保障政策の展開と福祉国家体制の再編」藤村正之編著  
『講座社会変動9・福祉化と成熟社会』ミネルヴァ書房、123～148頁、2006年9月。
- ・Hiraoka, Koichi "The Reform of the Long-Term Care Insurance Scheme in Japan",  
Research Monograph: Studies of Human Development from Birth to Death,  
Ochanomizu University 21st Century COE Program, pp.139-143.2006年12月

## ◆研究内容

- 1) 科研費プロジェクト (研究代表者): ①「日本型社会福祉システムの確立・変容過程の実証的研究——国際比較の視点から」: 日本の社会福祉システムの変容過程を分析するプロジェクト②「介護保険制度における集中的在宅ケアと施設利用マネジメントのシステムの開発と評価」——在宅ケアのプログラム開発に関する応用的研究
- 2) 特別教育研究経費による事業の一環としておこなっている研究: ①社会サービスにおける政策評価に関する研究——諸分野の研究者を招いてセミナーを実施②社会保障制度の合意形成に関する研究——社会保障に関する意識調査の企画・準備
- 3) 21世紀COEプログラムによる共同研究: ①中高年女性のライフコースに関する調査 (パネル調査の第2回) の実施とデータ分析②介護保険の評価に関する英文論文の執筆
- 4) その他: ①介護保険制度改革についての海外での学会報告と講演②オーストラリアの福祉サービスの評価についての資料収集

## ◆教育内容

- <学部>  
社会政策論Ⅰ: 社会政策の政策科学的な研究の分析枠組みの概要を講義。  
比較社会政策論: 比較福祉国家研究の成果をふまえた欧州諸国と日本・東アジアの社会政策の比較  
社会保障論演習Ⅰ: 規範理論に関する文献の輪読  
社会保障論演習Ⅱ: 所得保障・介護サービスの日英比較
- 社会学研究指導1・2、卒業論文: 卒業論文指導  
<大学院前期課程>  
社会福祉論: 各分野における最新の研究動向を示す論文の検討  
社会福祉論特論: 社会保障理論の再検討  
<大学院後期課程>  
演習1、演習2: 個別指導、研究発表と討議
- このほか、特別教育研究経費による事業「コミュニケーション・システムの開発によるリスク社会への対応」(4カ年計画)のリーダーをつとめ、新たな教育プログラムの開発に取り組んだ。また、この事業の一環として、国内でほとんど類例のないヒューマンサービスの政策評価に関する副専攻(大学院博士前期)をスタートさせた。

## ◆Research Pursuits

---

1) Research project supported by The Grants-in-Aid for Scientific Research----

a) Analysis of the Formation and Change in the Japanese System of Social Welfare Services.

b) Development and Evaluation of Intensive Community Care and Residential Care Utilization Management Programs.

2) Research project conducted as part of the Communication System Development Program---

a) Policy Evaluation in Human Service Programs.

b) Analysis of the Attitudes to Social Security.

3) Research project conducted as part of the 21st Century COE Program: Analysis of the life-course of the middle-aged women.

4) Miscellaneous: a paper presentation and a lecture in Denmark and Australia on the reform of the Japanese Long-Term Care Insurance. Study visit to Australian universities.

## ◆共同研究可能テーマ

---

- ・新たな介護サービスのプログラムの開発と評価
- ・介護・社会福祉に関する計画立案と評価のための基礎的研究
- ・海外の介護・社会福祉の先進事例の検討

## ◆将来の研究計画・研究の展望

---

現在取り組んでいる研究、および今後取り組む予定の研究の主なテーマは以下の通りです。

1. 国際比較の視点にたった日本型社会福祉システムの変容過程の実証的研究
2. 新しい介護サービスのプログラムに関する実践的研究
3. 社会福祉・介護分野におけるプログラム評価の手法の開発と教育方法の検討
4. 生活リスクの変容に対応して社会保障改革のあり方と、改革に関わる合意形成の方法の研究

## ◆受験生等へのメッセージ

---

他の国立大学にはあまりみられない本学の特色の一つとして、①家族に関する専門的研究を行っている社会学・心理学・経済学・法学等の教員、②社会保障・社会福祉・雇用労働等を専門に研究している教員が多く、この分野の研究・教育が充実していることをあげることができます。特に、社会保障・社会福祉等の分野の研究者、高度な専門性を持った職業人の養成に対する社会的な期待は高く、この分野の大学院レベルでの教育の充実をさらに図っていきたくと考えています。これらの分野の研究者や専門的職業人を目指す方の入学を期待しています。

## ◆Educational Pursuits

---

<Undergraduate courses>

Social Policy I: Outline of policy-oriented analysis of social policy

Comparative Social Policy: Comparison of social policies in European and East Asian Countries.

Social Security Seminar I: Reading of a book on normative theory

Social Security Seminar II: Comparison of British and Japanese pension schemes and social care services.

<MA courses>

Social Welfare : Review of journal articles for major topics of social policy analysis

Specific Topics of Social Welfare: Reading on texts on social security theories.

<Ph.D. Courses>

Seminar I, Seminar II: Supervision of research and discussion.